



## 「日本ミツバチ」も人も心地よく暮らせるまちに

※「日本ミツバチの行動から気持ちを整え読み取り、暮らしやすい環境を整えてあげることがとても大切なんです」と話すのは、梨農家を営む「日本みつばち八里(はちり)の会」副会長の鈴木安洋さん。日本ミツバチを飼い始めた



### 日本みつばち八里(はちり)の会 副会長兼事務局長

すずき やすひろ  
鈴木 安洋さん ※梨農家・養蜂家・利府町観光協会理事

1958年利府町生まれ。梨農家の四代目。9年前に早期退職して梨農家を継承。2010年より「日本ミツバチ」の養蜂を始め、2019年7月、利府町の養蜂家仲間と「日本みつばち八里(はちり)の会」を設立。現在の会員数は利府町を中心に宮城県内で40名ほど。日本ミツバチの保護・育成及び養蜂セミナー等に力を入れる一方、まちの観光活性化にも奮闘中。

# 十符人

「とふとー」

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

※2のは2010年4月、蜂の群れ(分蜂群)が自宅の納屋に巣を作ったのがきっかけ。駆除(保護)をお願いした方が蜂を新しい巣箱に移した後、日本ミツバチのはちみつを食べさせてもらった、とても美味しくてねと笑う鈴木さん。しかし3年で40箱まで増やした養蜂箱は、寄生ダニなどの影響で現在は14箱に減少。2019年、自然環境のバロ



鈴木さんが製造・販売する「利府のはちみつ」

Instagram  
日本みつばち八里の会  
<https://www.instagram.com/hachirinokai/>



「日本ミツバチ」の巣箱(養蜂箱)

メーターといわれる日本ミツバチの再生や、ミツバチに優しい環境づくり等を目指し、利府町の養蜂家仲間4人と「八里の会」を設立。日本ミツバチの養蜂セミナー、蜜蝋づくりのワークショップほか「利府のはちみつ」の製造・販売などを行っています。「セミナーや保護活動などを通して色々な方と交流でき、自分の世界が広がるのは楽しいですね」と鈴木さん。ご自身の所有する休耕地を整備し、日本ミツバチの好きな梅や桜などの木を植え、東屋を建てた養蜂場は、観光協会の「駅長オススメの小さな旅」のコースにもなっているとのこと。日本ミツバチが家に巣を作って困っている方、「八里の会」で保護しますので、ぜひ連絡をください」と、熱いメッセージを頂ぎました。

※1: 日本ミツバチ: 日本に昔から生息している在来種のミツバチ。西洋ミツバチよりひと回りほど小さい。 ※2: 分蜂群: 主に春から夏、巣別れて新しい巣を探す女王バチと働きバチの群れ。 ※3: 養蜂箱: 女王バチと働きバチが生活し、子どもを育てる養蜂用の巣箱。通常は1箱におよそ1万5千匹が暮らす。

利府町公式  
Instagram



Instagram  
rifu\_town



利府町公式Instagram「みやぎ利府歩き」では、皆さまからの利府町に関する投稿を募集しています。公式アカウントをフォローの上、[#利府歩き] [#りふあるき] を付けて投稿してくださいね。

# #りふあるき



投稿者: @ryutasuzukiさん  
(ハマスカ体験フェアでのまち歩きの様子)



投稿者: kouchan4233さん  
(利府の海から見た虹の写真)

### 利府町 LINE・メール配信サービスのご登録をお願いします!

町では、町民の皆さまに必要な情報を迅速に配信するため、LINE、メールを活用した情報発信を実施しています。まだ登録がお済み出ない方は、ぜひ登録をお願いします。

メールの方

LINEの方



パソコン・スマートフォン



フィーチャーフォン

